

第 222 回 昭和の森自然観察会

池や川の仲間たち

小林義和（千葉市）

日 時：2010 年 6 月 13 日（日）13～15 時 天気：晴れ 気温 25°C 水温 20°C

参加者：64 名（大人 31 名・子供 33 名）指導員 13 名

担当指導員：小林義和 畫間初枝 山田益弘

定例の午前中の小中川生物調査では サワガニ、オニヤンマのヤゴ、ヘビトンボのヤゴ、タニシ、カワニナ、ヨシノボリ（類）、ヒル、アメリカザリガニ、シマアメンボ、午後の観察会ではドジョウを新たに観測し、10 種の生物が確認されました。

午後の一般参加の自然観察は当初予定の①小中川の生物調査と、②菖蒲田奥の水温調整池でのザリガニ退治（ザリガニ釣り）を二班とも体験してもらうことであったが、小中川までの時間が片道 30 分近く必要であることが判明したために、急遽 ①小中川の生物調査と ②ザリガニ退治の 2 班で別々に行うことに予定を変更して実施しました。

午後の観察会で一斑の参加者に小中川の水の体感温度を挙手により行って見たところ、20°Cより暖かいか、20°C未満か、二者択一では3名のみが20度以上だとし、残りの30名以上が20度未満との回答でした。正確には20°Cなので全体的に思いのほか冷たく感じているようでした。

二班は中菖蒲田の水生生物のホトケドジョウ、ヤゴ、カワニナなどを観察して、引き続きザリガニ退治（ザリガニ釣り）を行い7リットルのバケツにほぼいっぱいの釣果が得られ、観察会の終了後 公園の片隅に埋葬しました。

右表は小中川の生物調査の結果です。

指標階級 I . サワガニ、ヘビトンボ、ブユ。II . カワニナ、ゲンジホタル、タイコウチなどが観察されていることからまだきれいな水に評価できるものと思われます。

今回も小中川近くに廃棄物の不法投棄がされていたとのことでしたが、前日迄にゲンジボタル愛護会の努力によって川の中及びそこに至る道筋がきれいに清掃されました。おかげさまで参加者全員が気持ち良く観察することができました。

深く感謝申し上げます。

小中川の生物調査結果(2002～2010)は下表の通り

調査は 1993 年から継続して行われており、2000 まではしおかぜ No.86 にて 大塚さんが報告しております。(2001 は資料なし)

		2	3	4	5	6	7	8	9	10
指標生物	I サワガニ(A)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ブユ	○	○							
	ヘビトンボ(C)	○	○	○	○	○	○	○		○
	II カワニナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ゲンジボタル(X)				○		○		○	
指標生物以外	III タイコウチ	○		○			○			
	タニシ								○	
	ヒル						○		○	
	IV ミズムシ		○	○					○	
	アメリカザリガニ		○	○			○		○	
指標生物以外	アブの幼虫			○						
	アズマヒキガエル(C)				○	○				
	アメンボ	○								○
	オオカワトンボ						○		○	
	オニヤンマのヤゴ	○			○	○				○
	ガガンボ			○		○	○	○	○	
	ガガンボの幼虫	○								
	カダヤシ								○	
	ギンヤンマのヤゴ(C)		○							
	ケラ	○							○	
	ゲンゴロウ(X)						○			
	サカマキガイ	○		○						
	トウヨシノボリ(C)				○	○				
	ドジョウ	○	○				○		○	
	ニホンアカガエル(A)	○	○	○		○		○		
	ヌマチチブ(C)	○								
	ハエの幼虫			○						
	ヒキガエルのお玉杓子		○							
	ブルーギル		○							
	ホトケドジョウ(A)					○				
	ミシシッピーアカミミガメ								○	
	ミズスマシ(A)	○	○		○					
	ヨシノボリ	○		○			○	○		○
	ヤゴ		○							

◎水質階級

I きれいな水（水質階級 1） II 少し汚れた水（水質階級 II）
III 汚い水（水質階級 III） IV 大変汚い水（水質階級 IV）

◎千葉市レッドデータブック指標

(X) 消息不明・絶滅生物 (A) 最重要保護生物
(B) 重要保護生物 (C) 要保護生物